

# わたしたちの 神原

発行・編集  
神原コミュニティ協議会  
☎74-0978

## 神原地区青少年補導委員

神原地区青少年補導委員は、市・教育委員会から委嘱を受け、6月から1年間、子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるように活動しています。

今年度は、藤原純さん（神原小学校PTA）、平野美恵子さん（神原地区青少年愛護協議会）、大平佳恵さん（上ヶ原中学校PTA）、入佐良江さん（大社中学校PTA）の4人で、月に3回、地域を巡回しています。

活動の様子を代表の藤原さんに聞きました。

「こんにちは。私たちは地域の人たちに認識してもらいやすいように、黄色のベストを着て子どもたちを見守り、声を掛けながら神原小学校区を巡回しています。校区内で子どもたちが通る道や遊ぶ公園などの暗くて危ない所を見つけたときは、行政へ草刈りの依頼や防犯カメラ・センサー



ライトの取り付けをお願いし、少しでも子どもたちが安心・安全に通学や遊ぶことができるように努めています。

長期休みのときは、子どもたちが外に出かけているような時間帯に巡回するなど、工夫しながら進めています。

私たちから声を掛けなくても子どもたちが多く、補導委員一同子どもたちから元気をもらって活動しています。



左から平野さん、入佐さん、藤原さん、大平さん

これからも、子どもたちが安心・安全に暮らすことができる町づくりをお手伝いできるような、精いっぱい努めていきますのでよろしくお願いします」



神原校区をパトロール



◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしてお墓作りを考えています◇

### 有限会社 中原石材工業所

代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27(満池谷墓地正面西約200m)

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200

# 昨秋から年末に地域を活気づけた 活動や行事



子どもたちの力作が並ぶ

### 神原小学校図工展

コロナ禍以降初めての図工展が11月20～23日に開催されました。テーマは原点に立ち返る意味を込めて、学校の教育目標の一部である「共に未来を」でした。今回は「児童鑑賞日」と「ふれあい鑑賞日」に加えて、4年ぶりに一般公開もありました。

体育館の広い空間には、1年生から6年生までの絵画や工作などいろいろな作品が展示され、一つ一つの作品からは、子どもたちの個性が表れているようで、見応えのある図工展でした。



さまざまな介助用品の説明を聞く

### 大社地区民生・児童委員会 管外研修

管外研修でたつの市にある兵庫県立西播磨リハビリテーションセンターの見学へ11月29日に行きました。木とレンガを組み合わせた建物は、宍粟市の木材がふんだんに使われ、温かい雰囲気施設の設けです。ここでは、音楽療法や園芸療法も取り入れて、心の安定を図る取り組みをしています。

参加者35人（神原地区からは10人）は、施設スタッフの案内で館内や車椅子でも入れるスロープ付きのプールなどを見学。福祉用具展示ホールでは、介助ベッドや車椅子、つえ、食事や入浴時の自助具の説明を受け、有意義な研修でした。



紅葉の嵐山

### 獅子ケ口町自治会

#### 親睦バス旅行

待ちに待ったバス旅行を12月2日に、4年ぶりに開催しました。行き先は京都。大人50人、子ども17人がバス2台に分乗して、太秦映画村や紅葉の残る嵐山を散策し、初冬の京都を満喫しました。

この親睦旅行を通して、同じ町内にいても、日頃付き合



神原校区の参加者



みんなでおいしくいただきました

神原地区社会福祉協議会（社協）のあみ編みサロンで、12月7日に餅つきをしました。



あんを丸めて下準備

### あみ編みサロンのお餅つき

いかなかった人たちとも親しくなることができました。住人同士のつながる機会が多くなれば、住みやすい、安心・安全な町ができるでしょう。これからも、いろいろな行事を通して親睦を深めていく予定です。





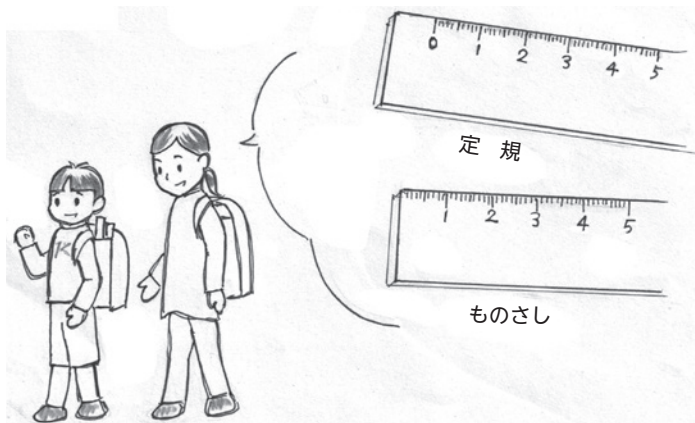
# 科学のトリビア(11)

## 「定規」と「ものさし」の違いは？

山田和男(奥畑)

学校の授業で「定規」を使いますね。直線の定規や三角定規が筆箱の中に入っているかもしれません。また、縫い物などでは竹の「ものさし」を使うことがあります。

「定規」と「ものさし」は何が違うのでしょうか？ 普段はあまり違いを意識しませんが、実はこの二つの道具にはきちんと違いがあります。使う目的が違うのです。



必ず目盛りがついているわけではありません。目盛りがついている場合は、端から少し間隔を空けたところから目盛りが始まっています。鉛筆などをゼロの場所にあてがいやすいからです。定規は、材質などによって目盛りにわずかな誤差があることもあります。一方、「ものさし」は物の長さを測る道具で、端から目盛りがついています。「さし」や「尺」とも呼ばれ、長いものを測るためには「巻尺」というものもあります。どちらも便利な道具ですね。

あみ編みサロンは「編み物で人と地域をつなごう」を目標に、定期的に集まって一緒に編み物を楽しんでいるグループです。当日は12人が参加し、餅つき機で合計7.5kgのもち米をつきました。ヨモギあんこや白餅あんこ、白餅のあべかわとの巻きなどが出来上がり、おいしく食べました。いろいろおしゃべりができて楽しかったです。



サンタ姿で弁当を手渡し

ふれあいサロン ☆いきいきかんばら☆を開催 社協の食事サービスが12月21日にあり、スタッフがサンタクローズの衣装をして弁当を手渡しました。



音楽療法士の藤原さんと

午後からは「ふれあいサロン」を開催。今回は音楽療法士の藤原直子さん(獅子ヶ口町)を講師に迎えました。まず口腔体操の「パタカラ」を歌い、口の筋肉のトレーニング。次は参加者にトーンチャイムが配られ、クリスマスソングに合わせて合奏をしました。その後は、参加者がリクエストした曲をみんなで歌い、楽しいひとときを過ごしました。



クリスマス飾りで気分も上がる



季節の美味しい和菓子をお楽しみ下さい  
慶弔の引出物承ります

# 和菓子司 翁菓舗 甲陽園

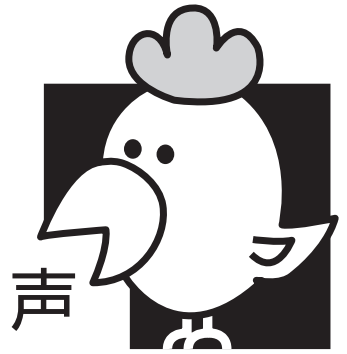
阪急甲陽園駅前通り 電話 (0798) 74-6825  
(水曜定休日) 甲陽園西山町1-60

広告



壁面にずらりと並んだ顔のレリーフ

神原小学校あれこれ  
卒業制作の「顔」の壁面撤去  
グラウンド東側のブロック塀にはめ込まれていた卒業生（第1～15回、11回は除く）の顔を模した卒業制作物が、塀の老朽化のため撤去されました。小学校のホームページで知った卒業生の中には、久しぶりに学校を訪れ、何十年も前に制作した自分の作品を、懐かしそうに写真に収める人もいました。



大谷翔平選手の  
野球クラブ届く  
米大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手から贈られた野球クラブとメッセージが、1月



校門に飾られた手作りのしめ縄

お正月、校門に「しめ縄」が  
小学校の校門に立派な「しめ縄」が飾られました。これは小学5年生が育てた神原米の収穫後のわらを使って作られたものです。  
制作は西尾雄文さん(北名次町)と出来谷治さん(獅子ヶ口町)。すてきな「しめ縄」をありがとうございます。

おめでとう  
ございます  
優良民生委員・児童委員  
として  
市長表彰  
鎌田 典子さん  
(北名次町)



大社中学生による記念碑の清掃

大社中学校  
1月12日に震災セレモニーがあり、1年生が西宮震災記念碑公園の清掃をしました。その後、追悼集会を開いて犠牲者の冥福を祈り、防災意識を高めました。



大谷選手のサイン入りグラブ

9日の始業式で披露されました。子どもたちからは「大谷大谷」の歓声が上がりました。その後、各学級に順に回しているそうです。

上ヶ原中学校  
1月17日に学校で追悼行事があり、災害に対する日頃の備えの大切さを学びました。  
神原小学校  
1月15日に西宮震災記念碑公園で、全校生による集会が行われました。  
神原校区自主防災会のメンバーとPTA有志、神原地区青少年補導委員も出席。西宮市犠牲者追悼之碑に黙とうをささげ、児童代表が献花をしました。  
能登半島地震が発生したこともあり、「被災した人たちの



恒例の大会

グラウンドゴルフの集い  
神原市民館運営委員会とスポーツクラブ21神原の共催で開かれました。優勝者はホーリンワンを4回も出した仁木賢司さん(獅子ヶ口町)でした。

神原公民館地域学習推進員会講座の予定

日時	内容	講師	備考
3月17日(日) 13:30~15:00	オカリナコンサートと参加者による合唱 オカリナの素朴で優しい音色の演奏を楽しくお聞きください。また、オカリナ演奏をバックにした合唱もお楽しみください	「社のオカリナ」グループ	定員 先着50人 申し込み 不要
4月19日(金) 10:00~11:30	チェックするだけで手軽に簡単「終活」! 「ゆいごん白書®」を書いて安心＆生き生き生活を送りましょう。1時間程度で終活に必要な物事の整理ができます	ゆいごん白書® 認定講師 賀嶋 悠	定員30人 電話申し込み 4月11日(木) 10:00~
4月21日(日) 13:30~15:00	音の魅力・音楽の力 思いをトランペットの音色にのせて演奏を楽しもう	トランペット奏者 鷹取 靖彦	定員 先着50人 申し込み 不要

講座の電話申し込み・問い合わせは、平日9:00~17:00に神原公民館まで(電話71-7444)



神原小学校の全校集会

心に残り添いたい」という子どもたちのメッセージもありました。秦淳也校長からは「地震を止めることはできないが、いろいろな学習を通して、命を守るための大切さを学んでください」という話がありました。

「ともに」阪神・淡路大震災の教訓を語り継ぐ